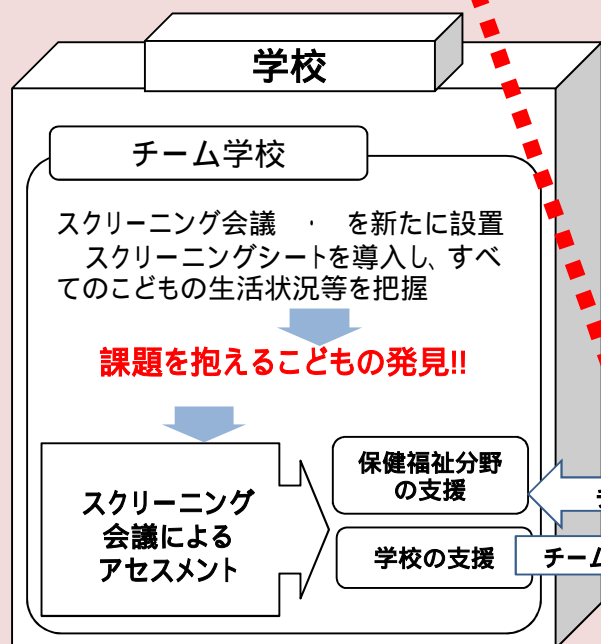


大阪市こどもサポートネット (平成30年度は7区でモデル実施)

こどもと子育て世帯の総合支援体制

区長のマネジメントによる新しい仕組み

教育分野の支援



校長・教頭・担任・養護教諭等によるチーム学校に、新たにSSW・SC・コーディネーターを加えた「スクリーニング会議」を置き、スクリーニングシートを活用して課題を抱えるこどもと子育て世帯を発見し、支援方法を検討する。

教育分野の支援はチーム学校を中心に行い、保健福祉分野における支援はコーディネーター(区役所)により適切な関係機関へつなぐ。

コーディネーターは地域資源の把握と開発を行うとともに、対象のこどもや子育て世帯を地域資源につなぐ。

家庭訪問(アウトリーチ)
・保健福祉制度の説明と手続支援
・子育てに関する情報提供等

子育て世帯

チーム学校と連携し、保健福祉分野の支援につなぐ

チーム学校の教育的支援

子育て世帯への支援

生活・就労などの支援
ひとり親世帯への支援
保健福祉分野の支援
その他の支援

保健福祉分野の支援

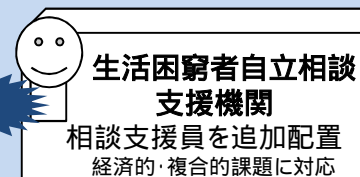
貧困に関するスキーム
物的資源や生活に必要な資源(収入、住宅等)
ソーシャルキャピタル(つながり等)
ヒューマンキャピタル(雇用、勤労等)

新設



区役所
(保健福祉センター)

新設



その他の関係機関

・医療機関
・こども相談センター(教育相談等)
・社会福祉協議会
・発達障がい者支援センター

地域による支援

- ・民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司
- ・NPO、地域団体等(学習・食事支援)
- ・青少年指導員、青少年福祉委員
- ・企業・商店など
- ・その他の関係機関

連携